

社福振福一第 12 号
平成 31 年 4 月 24 日

道府県
各 政令指定都市 民生主管部（局）長 様
中核市

公益財団法人 社会福祉振興・試験センター
理事長 根本 嘉 昭



2019 年度 9 月開催社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け
合宿研修会（障害者支援）の受講者の推薦について（依頼）

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（参照：センター概要）の運営につきまして、かねてより各地方公共団体の皆様に格別のご高配を賜わり心より感謝申し上げます。

例年各地方公共団体の皆様には、標記研修会の開催に際し管内の社会福祉施設・事業所に従事する職員の中から受講者の推薦などお手を煩わしており、誠にありがとうございます。

今年度の合宿研修会は、別紙「ご案内」及び「日程表」の通り、地域共生社会の実現に向け、地域住民の生活課題に適切に対応できるよう、地域づくりや地域福祉の推進に寄与するためのスキルの習得といった観点で、昨年度迄のカリキュラムを抜本的に見直したところです。

各地方公共団体のご担当者様におかれましては、ご多忙のこととは存じますが、地域共生社会の実現に向け中核的役割を期待されている管内の社会福祉法人様あて本研修会の開催案内を通知願います。

推薦書の提出期限は、受講者の選考など事前準備の関係上 6 月 12 日（水） としておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、書類の提出が提出期限に間に合わない場合は、電話、FAX、メールにより 6 月 12 日までにご連絡下さい（該当者がいない場合もお知らせいただきますようお願いいたします。）。

受講希望者に係る選考結果につきましては 6 月 26 日頃迄にご通知いたします。

担 当	福祉第一部 高倉、坂上（さかうえ）
電 話	03-3486-7511
F A X	03-3486-7514
住 所	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6
E-mail	ml-fukushil@sssc.or.jp
ホームページ	http://www.sssc.or.jp/

各地方公共団体及び県社会福祉協議会ご担当者様向け補足説明

かねてより、（公財）社会福祉振興・試験センターの円滑な業務運営に協力いただきありがとうございます。本文書が、担当係ではない係に届いてしまった場合は、恐れ入りますがご担当者様にお渡し願います。

1. 研修内容の抜本の見直しについて

本研修は、昭和 46 年からの国における社会福祉施設緊急 5 か年整備計画の後方支援として、昭和 48 年から身体障害者更生援護施設と知的障害者援護施設の直接処遇職員を対象に実施して参りました。約半世紀に亘り本研修会を実施する中、支援新制度への移行、発達障害者支援法、障害者自立支援法、障害者総合支援法の施行など障害者施策は大きく進展しました。さらに、超高齢・人口減少社会に突入した現在、「地域共生社会の実現」が政府の政策課題に掲げられており、地域住民の生活課題に適切に対応するための地域づくりや地域福祉の推進が急務となっております。これらを踏まえ研修科目等の抜本的な見直しを行いました。

① 受講対象者を明示

公益的な活動を実施し地域貢献に取り組んでいる社会福祉法人等が経営する自立支援給付指定施設・事業所の生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者、サービス提供責任者、相談支援員及び児童発達支援管理責任者です。

※今回より本研修の対象は公益的取組みを行っている社会福祉法人等が経営している自立支援給付指定施設・事業所の生活支援員等となります。公益的取組みを実施していない法人や自立支援給付の指定を受けていない施設・事業所は対象外です。また、受講希望者の実務経験が三年未満の場合も対象外となりますのでご留意願います。

② 受講期間の拡大

研修実施期間について、カリキュラムの拡充に伴い 4 日間から 5 日間としました。

③ 受講定員の増員

50 名から 80 名に増員しました。

④ 研修科目の変更・充実

「地域共生社会の実現」をテーマに研修科目の抜本の見直しを行いました。

⑤ 複数の受験者を推薦する場合

全国からの推薦の結果希望者数が定員を超えた場合は、実施要綱に基づき選考を行います。そのため複数の受講者を推薦する場合で、実施要綱に関わらず管内事情等により独自の優先順位を希望するときは、優先順位を付して提出願います。

【推薦に際しご提出いただくもの】

1. 推薦書（実施要綱に定める様式）

指定様式に未記入箇所がなく、道府県・政令指定都市・中核市・県社会福祉協議会担当部が推薦をしたもの。

2. アセスメントシート（事前課題）

講義「サービス等利用計画・個別支援計画づくりの手順・留意点」に使用する資料となります。

参考様式により参加予定者が担当する利用者に係るアセスメントシートを、個人が特定できない範囲で作成し、推薦書と同時に提出して下さい。

提出期限：2019年6月12日（水）必着

※推薦期間中（6月12日まで）、当センターホームページ「国内合宿研修」ページに推薦書等様式（Word）を掲載致しますので必要に応じダウンロードしてください。

書類の提出が期限に間に合わない時は、その旨を電話・FAX・メール等で、期日までに連絡願います。なお、推薦者がいない場合であっても、その旨ご連絡ください。

2. 受講者の決定について

2019年6月26日頃迄に通知します。

また、受講決定者には当センターより所属長あて別途通知を発送いたします。

選考の結果、受講対象から漏れた方には、恐れ入りますがご担当者様よりお知らせください。

ご不明な点等ありましたら、お手数ですが下記担当者までご連絡をお願いいたします。

公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

担 当 福祉第一部 高倉、坂上（さかうえ）

電 話 03-3486-7511

F A X 03-3486-7514

住 所 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6

E-mail ml-fukushi1@sssc.or.jp

ホームページ <http://www.sssc.or.jp>

社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け国内合宿研修会のご案内

(公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業)

主催：公益財団法人 社会福祉振興・試験センター（後援：厚生労働省）

目的

社会福祉法人等が経営する社会福祉施設等において高齢者介護、障害者支援に従事している介護職員、生活支援員等を対象に高度な専門知識並びに介護・支援技術の習得及び参加者相互の交流の機会を提供し、見識を深めていただくこと。

日程・募集定員・会場・参加費用・研修会概要

年2回開催

1. 日程・募集定員

7月研修（高齢者介護）：2019年 7月1日（月）～7月5日（金）（5日間）定員80名

9月研修（障害者支援）：2019年 9月2日（月）～9月6日（金）（5日間）定員80名

2. 会場：ホテルルポール麹町（東京都千代田区）

3. 参加費用：無料（受講料・交通費・宿泊費をセンターが負担）

概要	7月研修（高齢者介護）	9月研修（障害者支援）
対象者	- 公益的な取組を実施している介護報酬指定施設・事業所に勤務する生活相談員・介護職員・介助員・介護支援専門員等 以下の要件を満たす者であること - 社会福祉施設等における介護・支援業務の経験が通算して3年以上かつ、本研修受講後も引き続き勤務を継続する意志を有する者 - 本研修に参加したことのない者 - 研修期間において研修会場の宿泊施設に宿泊できる者（2～3名部屋）	公益的な取組を実施している自立支援給付指定施設・事業所に勤務する生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者、相談支援専門員等
選考基準	センター選考基準に則り書類審査にて決定（選考基準はセンターHPに掲載）	
研修カリキュラム （講義・演習）	- 地域包括ケアシステムとは - 地域福祉ガバナンスの創出 - 共生型サービスの取組 - 認知症高齢者の心理とケア - 福祉人材の確保・定着 - 不適切ケアの改善 - 介護記録の書き方トレーニング - 介護ロボット	- 自立支援協議会による地域体制づくり - 地域福祉ガバナンスの創出 - 行動障害のある人や重症心身障害者の地域生活支援 - 意思決定支援の取組 - 就労支援事業所の役割 - サービス等利用計画・個別支援計画づくりの手順・留意点 - 発達障害児・者の支援 - 知的障害のある犯罪行為者への支援
研修評価	研修終了後のアンケート結果による満足度100%（平成29年度） 昭和48年から46年続く歴史ある研修。 受講者数は累計7,391人。	



他

他

応募方法について

都道府県・政令指定都市等に推薦を受ける必要があります。

推薦を受ける先が不明な場合、下記国内合宿研修担当までご連絡ください。

（注意）直接センターへ推薦書を送付しても受付できません。

照会先

◆ 社会福祉振興・試験センター 福祉第一部 国内合宿研修担当

詳細はセンターHPをご確認頂き、ご不明な点はセンターへご照会下さい。

<http://www.sssc.or.jp/>（電話：03-3486-7511 土・日・祝日を除く9時から17時）

2019年度 9月開催 社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け合宿研修会日程

2019年度 9月開催 社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け 台伯研修云口性									
9:00	12:30	13:00	13:30	15:15	15:30	17:00	17:45	19:00	
9/2 (月)	受付	オリエンテーション	開講式	障害者福祉行政の動向 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部	休憩	特別講義 障害者施設を訪ねてー海外事情ー 医療法人ふらて会 地域包括ケア推進室 課長補佐 武智 薫 (中央競馬馬主社会福祉財団海外研修参加者報告)			懇談会
9:00	12:00	13:00	14:45	15:00	17:00				
9/3 (火)	自立支援協議会による地域体制づくりと相談支援の専門性 社会福祉法人 唐池学園 貴志園 園長 富岡 貴生	昼食 休憩	重症心身障害者の地域生活支援 社会福祉法人 訪問の家 理事長 名里 晴美	休憩	行動障害のある人の地域生活支援 社会福祉法人 北摂杉の子会 理事長 松上 利男				
9:00	12:15	13:00	14:45	15:00	17:00				
9/4 (水)	就労支援事業所の役割 社会福祉法人新冠ほくと園 サポートセンターえまじあ 管理者 成田英司	昼食 休憩	意思決定支援の取り組み・合理的配慮 社会福祉法人 育成会 理事 古川 敬	休憩	地域福祉ガバナンスの創出 関西学院大学 人間福祉学部 教授 藤井 博志				
9:00	12:00	13:00	サービス等利用計画・個別支援計画づくりの手順・留意点 (ソーシャルワークの実践)						
9/5 (木)	発達障害児・者の支援 上智大学 総合人間学部 教授 大塚 晃	昼食 休憩	サービス等利用計画・個別支援計画づくりの手順・留意点 (ソーシャルワークの実践) 華頂短期大学 教授 武田 康晴						
9:00	12:00	13:00	14:30	15:00					
9/6 (金)	行動支援とアセスメント NPO法人 たんと。 理事長 飯島 尚高	昼食 休憩	知的障害のある犯罪行為者への支援 山口県立大学 社会福祉学部 教授 水藤 昌彦	閉講式					

(注) 演題は今後変更が有り得ること。